

自治体ですすめる 子どもの貧困対策

「子どもの貧困対策法」制定から来年で5年。大綱の改正が予定されていますが、そのポイントの一つが、基礎自治体における対策計画の策定などの取り組みの推進です。「子どもの貧困対策センターあすのば」では、それぞれの自治体で、それぞれの実情を踏まえた、より実効性の高い計画が策定されることを切に願って、地方議員の皆さんに特化したフォーラムを初めて企画しました。公私ともに忙しいことと存じますが、子どもの貧困の解消に向けて、意見交換や情報共有の大切な場といたしたく、ご案内申し上げます。ぜひご参加ください。

- 【日時】2018年7月10日(火) 13時30分～17時 ※13:00開場
【会場】国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟402研修室
渋谷区代々木神園町3-1 小田急線参宮橋駅下車 徒歩7分
【参加費】地方議員5,000円 / 議会事務局職員等2,500円
【申込み】裏面参加申込書をFAXあるいはあすのばウェブサイトからお申し込みください。

- 13:30 開会
- 13:35～14:35 「子どもの生活と声1,500人アンケート最終報告からの発見」
末富 芳（日本大学教授） / 村尾政樹（あすのば事務局長）
- 14:35～15:05 「地域子供の未来応援交付金」の活用事例など
内閣府 阪口理司さん（子供の貧困対策担当企画調整官）
= 休憩 =
- 15:20～16:00 基礎自治体の先駆的な取り組み事例紹介
①教育と児童福祉の連携「子ども成長見守りシステム」
大阪府箕面市教育委員会 松澤ひとみさん（子ども成長見守り室長）
②セーフティネットコールセンターを中心とした全市的な取り組み
東京都日野市 青木真一郎さん（セーフティネットコールセンター長）
- 16:00～16:50 議員からの取り組み発表
- ※17:00閉会予定

※希望者による意見交換会（懇親会）17時30分～19時30分 レストランさくら（国際交流棟）会費4,000円（立食形式）

【主催】子どもの貧困対策センター 公益財団法人あすのば
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-6 河村ビル6F
問合せ（事務局） TEL (03)6277-8199 FAX(03)6277-8519
E-mail info@usnova.org WEB:www.usnova.org

F A X

(送り状不要)

FAX 03-6277-8519

FAX・ウェブサイト・メールなどでお申し込みください。

E-mail info@usnova.org WEB www.usnova.org

自治体ですすめる子どもの貧困対策
第1回あすのば地方議員フォーラム 参加申込書

日時 2018年7月10日(火)13時30分～17時

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟402研修室
渋谷区代々木神園町3-1 小田急線「参宮橋」駅下車 徒歩7分

地方議員フォーラム 13時30分～17時 意見交換会(懇親会) 17時30分～19時30分

ふりがな
お名前

ご所属・お肩書

ご住所 〒

電話

FAX

E-mail



子どもの貧困対策法成立から満2年を迎えた2015年6月19日に、子どもの貧困対策センター「あすのば」は設立・誕生しました。

あすのばは、「明日の場」とともに「US(私たち)」と「NOVA(新しい・新星)」という意味もあります。子どもたちが「ひとりぼっちじゃない」と感じてほしいという「私たち」と一緒だよという願い。そして、多くの人に子どもの貧困問題が他人事ではなく自分事に感じてほしいという「私

たち」でもあります。みんながつどう「場」であってほしいですし、すべての子どもたちが明日に希望を持って、輝く新星のような人生を送ってほしいという願いも込めています。

あすのばの事業は、①調査・研究とそのデータなどに基づいた政策提言、②全国の支援団体の活動が持続し発展できるような支援団体への中間支援、③子どもたちの自立のために物心両面での子どもたちへの直接支援、の3本柱を担います。

また、もう一つの大きな特徴は、子どもがど真ん中・「センター」のポジションとして、孤立し声を出せない子どもの声も大切に作る運営に務めています。6人の理事のうち3人が子どもを代表した学生らです。子どもの声を直接、法人の事業運営などに活かしています。

さらに、2016年4月1日、内閣府より公益認定を受けて「公益財団法人あすのば」に移行しました。今年度も子どもの貧困対策のさらなる推進に向けて歩みをすすめます。